

都民の生活実態と意識

平成 18 年度 東京都福祉保健基礎調査報告書（抜粋）

1：調査の目的：東京都内における各世帯の生活実態並びに世帯員の福祉、保健及び医療に関する意識を明らかにし、今後の福祉・保健医療施策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

2：調査の対象：東京都内に居住する、住民基本台帳から無作為に抽出した 6,000 世帯の内、調査基準日現在満 20 歳以上の世帯員を客体とする。

3：調査の基準日：平成 18 年 11 月 11 日（調査期間 平成 18 年 11 月 11 日～12 月 10 日）

4：調査事項【福祉、保健及び医療に関する意識調査分】

- ・ 生活習慣予防
- ・ 悩みやストレス
- ・ 児童、高齢者虐待
- ・ 地域福祉
- ・ 社会保障と費用負担
- ・ 運動と健診
- ・ 子育て支援
- ・ 障害者の福祉と雇用
- ・ 福祉サービスへの民間参入
- ・ 所得（収入）などのあり方について

5：調査方法【福祉、保健及び医療に関する意識調査分】

満 20 歳以上の世帯員を対象に調査票への記入は、対象者自身が行う、留置の調査。

6：集計の対象【福祉、保健及び医療に関する意識調査分】

調査の客体	集計対象 (回収率)	調査不能				
			転出	不在	拒否	その他
9,828	6,996 (71.2%)	2,832	50	202	1627	246

* がん検診の受診率に関する集計対象数

胃がん、肺がん、大腸がん：40 歳以上 男女 n=4,848
子宮がん：20 歳以上 女 n=3,734
乳がん：40 歳以上 女 n=2,554